

総合技術研究会 2019 九州大学 参加報告

機械・環境建設系技術班 十河 基介
自然科学系技術班 鎌田 浩子

主 催：九州大学
期 間：平成 31 年 3 月 6 日（木）～ 3 月 8 日（金）
会 場：九州大学 伊都キャンパス

1. はじめに

2018 年 9 月に完成した伊都キャンパスにおいて、総合技術研究会 2019 九州大学が開催された。本研究会は全国の大学法人、独立行政法人の研究機関、国立高等専門学校機構に所属する技術職員が職務遂行上有益な知識を取得すること、及び意識の啓発と資質の向上を図ることを目的とした全国規模の技術研究会として開催された。本学から 2 名が参加し、口頭発表 1 件、ポスター発表 1 件を行ってきたことについて報告する。

2. 報告事項

参加状況は 100 以上の機関から 800 名を超える参加者があり、12 分野にわたって約 180 件の口頭発表、約 250 件のポスター発表が行われた。スケジュールは 3 日間で、報告者は参加できなかったが、初日午後から 3 つの技術交流会、6 つの見学会が行われ、250 名を超える参加があったことが主催機関から報告された。2 日目は、椎木講堂での開会宣言に引き続き安全衛生技術講演会が行なわれ、神戸大学、東北大学および熊本大学から、各地域において発生した大規模地震における大学内の状況、その後の対策などについての講演があった。大学キャンパスにおいて、防災および減災への取組みについて考えるにあたって、非常に意義深い講演会であった。開会式、特別講演が同会場で行われた後、14 会場に分かれての口頭発表が行われた。その後、伊都キャンパスから市内他会場へ移動し、情報交換会が開かれた。3 日目は、まずポスター発表が 2 会場に分かれて行われ、実験・実習技術分野で鎌田が「特別支援学級児童との科学実験（わくわく実験教室）」と題し、発表をおこなった。午後の口頭発表では、生命科学技術分野で、十河が「体外実験装置による血管狭窄部流れの実験について」と題し、発表をおこなった。

本研究会での見学会では、隣県の佐賀にある施設の見学会も企画されており、また、口頭発表会場において会場の混雑具合をモニタリングし、参加者が会場の状況を知ることができるなど、新しい事に意欲的に取り組んでいる姿勢が感じられた研究会であった。

3. おわりに

総合技術研究会は開催される分野数が多く、多岐に亘っているため、自分の専門分野以外の分野に参加し、見分を広めることもできる。このような研究会は、総合技術研究会以外には無く、報告者も、自らの業務に関する他分野の発表を聞き、新たな知見を得ることができた。

謝辞：このたびの参加にご配慮いただきました高橋技術部長、泉事務課長および関係各位に厚く御礼申し上げます。



図－1 九州大学 伊都キャンパス